

平成26年度 第1回 岡山県道路交通渋滞対策部会 議事録			
日時 : 平成26年6月26日(木) 16:00~17:10 場所 : 岡山国道事務所3階会議室			
当 方	別添 配布資料中出席者名簿のとおり	先 方	
配布資料	添付のとおり		
要 旨	<p>○主要渋滞箇所の対策に係る基本方針の確認を行い、了承された。</p> <p>○最新データに基づくモニタリングの実施結果について報告を行った。</p> <p>○岡山県における今年度の渋滞対策事業について意見交換を行った。</p>		
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要渋滞箇所の対策に係る基本方針について説明。 →異議なし</li> <li>・モニタリングの実施結果について報告。</li> <li>・岡山県における今年度の渋滞対策事業について、各管理者より説明。</li> </ul>		
会長	<p>昨年度議論された基本方針を踏まえて、国・県・市それぞれの渋滞対策の取り組みが、一覽の形で共有されるのは良いことだと思う。3点質問したい。</p> <p>1点めは、モニタリングの結果66箇所についてはあまり変化がないという整理になっているが、逆にここはひどくなったとか、顕著な変化があったのか教えてもらいたい。</p> <p>2点めは、プローブデータに関して、例えば都市部の信号が連担しているところでは、信号停止による影響がデータに含まれると思うが、この影響を技術的にうまく処理できる方法があるのか伺いたい。</p> <p>3点めは、渋滞研究会で大規模商業施設が開通した後の交通状況のデータを踏まえて分析をされるというご説明があったが、具体的にどのようなデータを使われる予定か伺いたい。</p>		
事務局	<p>1点めに関しては、最新のプローブデータによるモニタリング後も、依然として主要渋滞箇所の条件に該当する状況になっていると認識している。</p> <p>2点めの信号の影響に関しては、信号の影響を取り除くのは難しいのが現状であるが、交通の流れや、信号の影響を、ビックデータを使うことによって分析できる可能性がある。今後そういったデータがとれるようになれば、活用していきたい。</p>		
委員	<p>3点めについては、1年分のプローブデータを収集することを考えている。開店前後のプローブデータを見比べることで、影響を分析したい。</p>		
委員	<p>ソフト施策の実施を予定していたが、これまで様々な検討を重ね、社会実験等も行ってきたが、現時点では実施が困難な状況となっている。</p>		
会長	<p>1年前と状況が変わっているところもあると思うので、そこは適宜見直して頂きたい。必ずしも1度決めたらそれで固定という訳ではないので、検討を進めていく中で、新たな対策が出てくれば、基本方針に盛り込んでいただきたい。</p>		
委員	<p>県道吉備津松島線について、車線運用が整備主体によって異なると交通安全上の懸念がある。</p>		
会長	<p>関係者間で調整をお願いしたい。</p>		
以上			